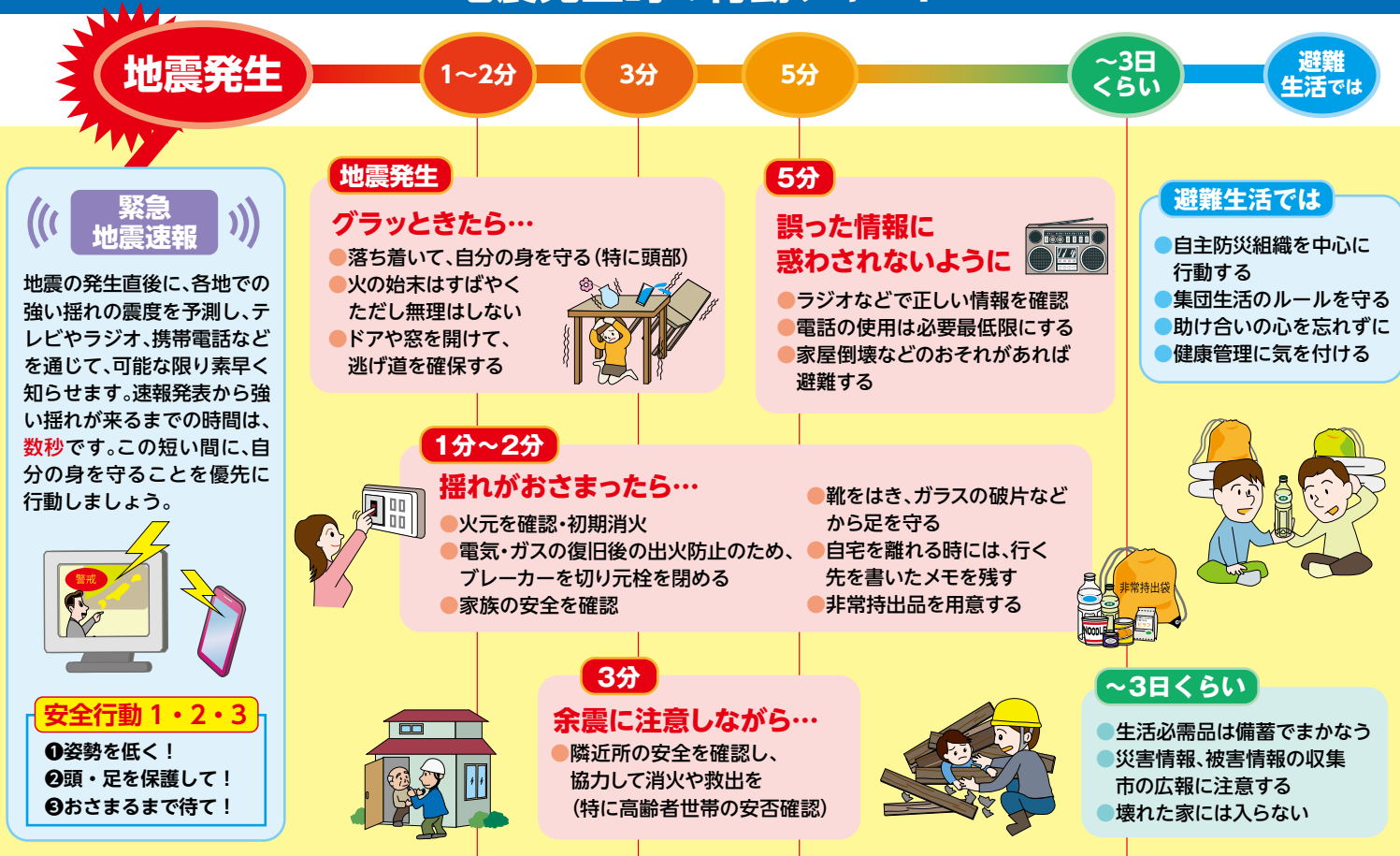


地震発生

そのとき、あなたはどうしますか？

東日本大震災から5年。多くの尊い命を奪った大震災において、生死を分けたのは“一瞬の判断力”でした。もしもの大震災に備え、「あわてず、落ち着いて」行動するための準備をいま一度確認しましょう。

地震発生時の行動チャート



家庭での備蓄は万全ですか 災害時には最低3日間、できれば7日間生活できる用意を！

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておきましょう。

水 飲料水は1人あたり1日3リットルが必要

- ペットボトルで飲料水を備蓄しておきましょう。
- 生活用水の確保のため、お風呂の水をため置きしておきましょう。
- 給水用のポリタンクを用意し、中に水を入れておくことも有効です。



食料 普段の買い物でも、日持ちするものを

- お米、パックご飯、乾麺、カップラーメン、缶詰などが適しています。
- 備蓄した食料を普段の生活で消費し、定期的買い足すことで、賞味期限切れを防ぎます。
- 乳幼児がいる家庭では、粉ミルク・離乳食・おやつを用意しておきましょう。



災害が起こる前に積極的に防災情報を入手

市役所、支所、公民館などで配布している「川口市地震防災ハザードマップ」やスマートフォンの「川口市ハザードマップアプリ」を活用し、日頃からの備えを確認しておきましょう。



問い合わせ…防災課 ☎048-242-6358 FAX048-281-5765